

平成十七年度洞爺村・財田町姉妹町村少年交流事業 第十二回「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」を終えて

団長 成香小学校長 鳥井 隆

十月六日から三泊四日の日程で、第十二回ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー。団長として、村内小学校六年生十四名の少年大使と共に香川県財田町を訪問してまいりました。今年は、市町村合併

の関係で、例年より約二ヶ月も早い訪問となりました。財田町の計らいで、鉾八幡神社の祭典に合わせての日程でした。以下、今回の訪問の概要についてお知らせします。

十月六日、保護者や担任の先生ほか大勢の人に見送られ、十四名の六年生と三名の引率者（洞爺小の藤谷先生、教育委員会の黒澤さんと私）で洞爺村を出発しました。新千歳空港で昼食をとり、いよいよ岡山空港行きの便に搭乗。離陸時には、飛行機に乗るのが初めての子どもが歓声をあげていました。順調な飛行で無事岡山空港に到着しました。

空港では、財田町教育委員会の石井さんと岡崎さんが出迎えてくれました。財田町まで二時間余り、バスの中では石井さんが名ガイド振りをみせてくれました。

日も暮れた夕刻、予定より少し早く財田町中央公民館に到着しました。長旅のせいで子どもたちは少し疲れ気味でしたが、緊張して歓迎式場へ入場しました。近藤町長様はじめ民泊家庭の子どもたちや保護者のみなさん、関係者の方々が温かく迎えてくれました。子どもたちは、夏に会った財田町の子どもたちと握手をして少しにっこり。それぞれの家庭に別れていきました。

二日目は鉾八幡神社の大祭日でした。朝八時に中央公民館に集合すると、役場前には

次々と獅子舞が訪れ、舞を披露していました。午前中は、町の行政バスで琴平町に出かけ、金刀比羅宮参拝、金丸座見学。昼食後は、鉾八幡神社大祭の見学をしました。洞爺の、ちょうさ（祭り用の太鼓台）も里帰りしていました。気温が二十八度位まで上がり、見物しているだけで汗が吹き

出ました。重さ二トンもある「ちょうさ」を約百人もの担ぎ手が力を一つにして持ち上げる様子は、本当に見事なものでした。また、洞爺の「曙獅子舞」も財田町の皆さんに舞を披露していました。曙獅子舞に所属しているフレンドリーツアーの少年大使二名は、朝から獅子舞の方に参加しました。

に戻りました。夜になって、出発前から心配していた事が起こりました。私の民泊先である山崎（町議）さんから、洞爺の子どもが熱を出して診療所に行ったとの連絡が入ったのです。教育委員会の大西課長さんが車で迎えに来てくださり、早速、民泊家庭に駆けつけました。「今日はゆっくり休んで、明日は皆と一緒にみかん狩りができるといいね。」と声をかけ、明日の朝までに熱が下がることを祈り、民泊家庭を後にしました。三日目は、朝から雨模様。財田上小学校に集合し、手打ちうどんづくりの体験学習をしました。前日、熱を出した子ども元気に参加していました。町内有志の方（八名に親切・丁寧

に教えていただきました。ありがとうございます。

おいしい本場讃岐うどんを食べた後、恒例のみかん狩り（ちぎり）にかけました。長谷川農園でお世話になりました。幸運にも朝からの雨が上がり、予定通りみかん狩りが



里帰りした洞爺の“ちょうさ”



洞爺の“曙獅子舞”